

【阿南町】校務DX計画

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%	100%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	86%	100%	100%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	86%	100%	100%	100%	100%
選択項目	3.子校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	100%	100%	100%	100%	100%
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	50%	100%	100%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・他自治体との差や各校における活用方法に差があり、教職員からも押印省略や配布物の電子化の要望がある。				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・周辺自治体との情報共有。環境の統一化が必要である。教員の異動、自治体によつての差を平均化するために、定期的な委員会を開催する。 当町としても、規則、連絡ツールを見直し業務簡略化を図る。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・令和9年度に中学校統合を実施する。統合に向けた準備委員会で校務のあり方について町、教職員で検討を行う。				